

〈学部消息〉

7 月理学部会合日誌

3 日 (水)	10:00~12:00	会計委員会
5 日 (金)	16:00~17:00	主任会議
8 日 (月)	14:00~17:00	理学系研究科委員会
10 日 (水)	13:30~15:30	教務委員会
	14:00~17:00	将来計画委員会
15 日 (月)	12:30~13:10	学部長と理職との定例交渉
16 日 (火)	13:00~14:40	人事委員会
17 日 (水)	13:00~16:20	教授会
24 日 (水)	13:00~14:00	人事委員会

9 月理学部会合日誌

9 日 (月)	14:00~15:40	理学系研究科委員会
10 日 (火)	13:30~16:10	人事委員会
11 日 (水)	10:00~12:00	会計委員会
18 日 (水)	10:00~11:30	教務委員会
	14:00~17:10	教授会

.....

教授会メモ

7 月 17 日 (水) 定例教授会

理学部 4 号館 1320

(学部長海外出張中につき下郡山教授が議長を代行)

1. 前回議事録の承認
2. 人事異動等の報告
3. 外国人客員研究員の紹介
4. 人事委員会報告 (木原)
5. 会計委員会報告 (吉川)  
校費配分案の説明があり承認された
6. 将来計画委員会報告 (黒田)  
まずライフサイエンス関係の問題をとりあげ関係する諸学科の代表者をも含めて現状と将来について討論した
7. 教務委員会報告 (岩堀)
  - i) 教職免許取得のための専門科目振替認定案の一部訂正
  - ii) 入試についての国大協アンケート回答案
  - iii) 採点報告方法の改正案

- iv) 第4学期時間割についての説明
- 8. ガイダンス委員会報告 (朽津)  
ガイダンスブック訂正加筆の原稿提出の依頼
- 9. 環境安全委員会報告  
全学委員 藤原教授  
理学部委員長 高橋武美教授  
全学環境安全センター設置案の説明
- 10. 寄附1件
- 11. 総合大学院委員会報告 (渡辺)  
第4回委員会の報告および将来計画委員会原案にもとづく、理学部として意見を提出したことの報告
- 12. 学内情勢について
- 13. 東大百年史委員会の発足について
- 14. RI 汚染事故 (教養学部) について特別委員会を設け対策を協議することになった旨報告があった
- 15. 学部図書館および第2総合図書館について報告と内容説明 (藤原)

教授会メモ

9月18日 定例教授会  
理学部4号館 1320

- 教授会に先だち、浅田教授から「中国における地震予知」と題して講演があった
- 1. 新任の佐藤哲也講師の紹介
  - 2. 本多名誉教授の御逝去 (8月19日) に対し全員で黙禱を捧げた
  - 3. 前回議事録の承認
  - 4. 人事異動等の報告
  - 5. 研究生の期間延長と入学の承認
  - 6. 寄附1件の承認
  - 7. 人事委員会報告 (木原)

- 8. 教務委員会報告 (岩堀)
  - i) 採点報告方法の改正について
  - ii) 全学ゼミナールの開講の申込みを各教室に強く要望された
  - iii) 第4学期ガイダンスについて。10月21日 (月) の予定
  - iv) ガイダンスの際配布する授業内容一覧の原稿提出の要請
  - v) 委員交代の件  
数学、物理、地物・一天文のシグロックの委員をきめてほしい。なお霜田教授は来年3月まで任期があるので、この間物理ブロックは委員が二人になる。
  - vi) 進学振分後の進学者最低点の公表について
- 9. 会計委員会報告 (吉川)  
部長保留金理学部共通経費配分案の説明があり、原案が承認された。
- 10. 委員の交代  
学寮委員 松野助教授より高倉教授へ  
改革室委員 上村助教授海外出張のため後任を選考する。
- 11. 改革室の作業の報告 (上村)
- 12. 総合大学院委員会の報告 (渡辺)
- 13. 全学環境安全委員会の発足について  
委員 藤原教授
- 14. 理学部環境安全委員会報告 (高橋)  
武排水分析、排溶媒処理の方法について
- 15. 東京大学創立百年記念事業募金準備会の発足について
- 16. 学内情勢報告
- 17. RI 汚染問題特別委員会の結論について
- 18. 外国人学生委員報告 (藤原)

人事異動

(助 手)						発令年月日	異動内容	備 考
教 室	官 職	職	名					
化 学	助 手	吉 藤	正 明			49. 8. 10	休 職	
化 学		川 島	隆 幸			49. 8. 10	助手に採用	
化 学	助 手	山 本	学			49. 9. 1	休 職	
化 学	助 助	菅 野	等			49. 9. 1	休 職	
化 学	助 手	中 村	暢 夫			49. 9. 1	復 職	
物 理	助 手	石 井	力			49. 9. 1	復 職	
物 理	助 手	大 岩	元			49. 9. 15	休 職	
植 物	助 手	柴 岡	弘 郎			49. 9. 1	退 職	東京都立大助教授就任

(講師以上)

教室	官職	氏名	発令年月日	異動内容	備考
物理		須浦 寛	49. 8. 1	文部教官教育職(一)3等級(東京大学講師理学部)に採用する	
地質	助教授	久城 育夫	49. 8. 31	復職	

### 7 月 海 外 渡 航 者

教室	職名	氏名	渡航先国	渡航期間	渡航目的
物理	教授	山口 嘉夫	連合王国	7. 2~ 7. 16	高エネルギー物理学国際会議出席および研究連絡のため
化学	教授	島内 武彦	連合王国	7. 7~ 7. 31	赤外およびラマン分光学および化学データ処理研究実施のため
地球	"	浅田 敏	中華人民共和国	7. 9~ 7. 29	地震学の研究のため
物理	"	植村 泰忠	フランス, ドイツ連邦共和国, 連合王国	7. 10~ 8. 13	強磁場応用国際会議および国際半導体会議出席並びに研究連絡のため
"	"	吉川 庄一	アメリカ合衆国	7. 10~ 9. 13	第5回放射線研究会議出席および研究連絡のため
動物	"	江上 信雄	アメリカ合衆国	7. 13~ 7. 29	第5回放射線研究会議出席並びに研究連絡のため
情報研	"	後藤 英一	連合王国, スウェーデン	7. 28~ 8. 17	IFIP (国際情報処理学連盟) 理事会・同総会・および同会議出席並びに研究連絡のため
植物園	助教授	古沢 潔夫	ドイツ連邦共和国, オーストリア, スイス, イタリア	7. 1~ 50. 6. 16	植物学, 特にバラ科植物の分類形態学の研究のため
物理	"	上村 洸	アメリカ合衆国, ドイツ連邦共和国	7. 4~ 7. 27	グラファイトの電子的物性に関する協力研究実施および第12回国際半導体会議のため
人類	"	遠藤 万里	シリア, レバノン, トルコ, シリア, イラン, イラク	7. 10~ 12. 20	西アジア洪積世人類遺跡学術調査のため
地理	"	小堀 巖	サウジアラビア	7. 15~ 8. 25	アシール地区の地域開発調査のため
化学	"	岩村 秀	ドイツ連邦共和国, オランダ	7. 16~ 8. 4	第5回 IUPAC 国際光学化学会議出席および調査研究のため
植物	助教授*	駒 嶽 穆	連合王国, フランス, フィランド	7. 18~ 8. 8	第3回国際植物組織培養会議出席および研究連絡のため
物理	講師	釜江 常好	アメリカ合衆国, スイス	7. 25~ 8. 31	素粒子実験実施および研究連絡のため
動物	助手	馬場 昭次	アメリカ合衆国	7. 1~ 8. 30	自然界における遊泳と飛翔に関するシンポジウム出席および研究連絡のため
動物	"	嶋 昭 紘	アメリカ合衆国	7. 13~ 7. 29	第5回国際放射線研究会議出席および研究連絡のため
人類	"	西田 利貞	オーストリア	7. 18~ 7. 31	霊長類学の国際会議出席のため
植物	"	広川 秀夫	ベルギー, ドイツ連邦共和国, ポーランド	7. 30~ 9. 10	NATO 国際夏期講座およびトランスフォーメーション・トランスフェクションに関する第2回国際会議出席および研究連絡のため

# 8 月 海 外 渡 航 者

教室	職名	氏 名	渡航先国	渡航期間	渡 航 目 的
地物研	教 授	福 島 直	ソビエト連邦共和国	8. 11～ 8. 28	国際地球磁気学・超高層物理学協会執行委員会出席および研究連絡のため
化 学	"	朽 津 耕 三	アメリカ合衆国	8. 15～ 8. 26	赤外ラマン分光学に関する1974 年度ゴードン研究会議出席および研究連絡のため
人 類	"	塩 原 和 郎	シリア, トルコ, イラン, イラク, ヨルダン, レバノ ン, 連合王国	8. 15～11. 30	西アジア洪積人類遺跡学術調査のため
植 物	"	門 司 正 三	マレーシア	8. 16～ 9. 8	東南アジア森林地帯の総合研究と訓練に関する MAB 地域会議出席のため
物 理	"	霜 田 光 一	アメリカ合衆国, 連合王国, カナダ, ドイツ連邦共和国	8. 17～ 9. 11	ゴードン会議・カナダ国立研究所セミナー・高々分解能分光学シンポジウム出席および研究連絡のため
数 学	"	田 村 一 郎	カナダ	8. 19～ 8. 31	国際数学者会議出席のため
化 学	"	島 内 武 彦	アメリカ合衆国	8. 22～ 9. 8	生物学的分子のラマン分光学セミナー出席および第4 回国際ラマン分光学会議出席並びに研究連絡のため
地 質	"	飯 島 東	アメリカ合衆国	8. 25～ 9. 3	環太平洋エネルギー鉱物資源会議出席および研究連絡のため
化 学	"	田 丸 謙 二	ドイツ連邦共和国, オランダ, スイス, ポーランド, 連合 王国	8. 25～ 9. 20	パッテル研究所コロキウム出席およびフアラディ討論会出席並びに研究連絡のため
生 化	助教授	田 隅 三 生	アメリカ合衆国, 連合王国, スイス, フランス, イタリア	8. 13～ 9. 24	第4 回国際ラマン分光学会議・赤外およびラマン分光学に関するゴードン会議・生体分子のラマン効果に関する日米セミナー・第6 回生物系磁気共鳴国際会議出席および研究連絡のため
地 球	"	小 嶋 稔	フィリピン	8. 14～ 8. 25	東南アジア地域における非鉄金属鉱床地質調査および鉱石中の含有される流体包有物の研究のため
動 物	"	川 島 誠一郎	アメリカ合衆国, メキシコ	8. 15～ 9. 16	出生前後のマウスに与えられたホルモンおよび発癌因子の標的器官・特に生殖腺系と乳腺に対する持続的効果の共同研究および第4 回国際ステロイド会議出席のため
物 理	助教授	阪 口 豊	シリア, トルコ, イラン, イラク, レバノン, ヨルダン	8. 15～11. 30	西アジア洪積世人類遺跡学術調査のため
化 学	講 師	原 田 一 誠	アメリカ合衆国	8. 22～ 9. 8	生物学的分子のラマン分光学セミナー出席および第4 回国際ラマン分光学会議出席および研究連絡のため
物 理	"	三 須 明	アメリカ合衆国	8. 25 ～50. 8. 24	半金属の磁気光学的研究のため
"	助 手	中 村 健 蔵	アメリカ合衆国	8. 3～ 8. 16	ゴルドン光核反応会議出席および研究連絡のため

数 学	"	堀 川 颯 二	アメリカ合衆国, カナダ	8. 3 ~50. 6. 30	アメリカ数学会夏期研究集 会・国際数学者会議出席お よび複素多様体の研究のため
物 理	"	上 原 喜代治	アメリカ合衆国	8. 24 ~50. 8. 23	二重共鳴法の実験的研究の ため
地 球	"	兼 岡 一 郎	フランス, スイス, カナダ, ドイツ連 邦共和国	8. 24~ 9. 14	国際地質年代学・宇宙年代 学・同位体地質学会議およ び研究連絡のため

## 9 月 海 外 渡 航 者

教室	職名	氏 名	渡航先国	渡航期間	渡 航 目 的
生 化	教 授	宮 沢 辰 雄	アメリカ合衆国	9. 2~ 9. 12	生物学的分子のラマン分光 学セミナー出席および研究 連絡のため
化 学	"	藤 原 鎮 男	連合王国, スイス	9. 7~ 9. 23	第 18 回アンペア国際会議 および第 6 回生体系に關す る磁気共鳴国際会議出席の ため
地 質	"	立 見 辰 雄	ブルガリア	9. 14~10. 1	国際鉱床学会議ヴァルナ集 会出席および研究連絡のため
物 理	"	久 保 亮 五	ドイツ連邦共和国, スペイン, イタリア	9. 18~10. 6	国際物理学連盟理事会出席 および研究連絡のため
"	助教授	堀 田 凱 樹	アメリカ合衆国	9. 1~ 9. 16	ショウジョウバエのモザイク に関する集会出席および 研究連絡のため
"	助 手	山 崎 良 成	アメリカ合衆国	9. 3 ~50. 8. 31	原子物理学の研究のため
数 学	"	山 崎 正	アメリカ合衆国	9. 10 ~50. 9. 9	多変数保型関数の研究のため
"	"	坂 内 英 一	アメリカ合衆国	9. 25 ~50. 8. 2	群論の研究のため

## 理職と学部長の交渉

7 月 15 日 (月) 12 時 30 分~13 時 10 分

出席者: 両評議員, 事務長ほか 4 名, 理職委員長ほか 2 名。学部長は海外出張中のため欠席。

議 事:

1. 理職から学部長交渉の内容を, 理学部広報の記事とは別に, メモの形で確認するか, テープ録音をするかしたいと要望した。学部側からこの交渉はある程度 informal な形にしてお互の考え方を理解するために自由に話合うことが大切なので, テープが入るとそれができなくなる可能性がある。交渉事項で合意に達したものがあつたときには, その都度メモの形で確認したらよいとの答があつた。

2. 本年度予算配分について例年と変る点があるかど

うか。公共料金値上げに対する学部としての措置について理職から質問があり, 予算配分はほぼ例年通りの方式に従って行なわれること, 物価上昇と物不足については化学はじめ各教室で困っており, その実態も資料が提出されつつあるのでこれをまとめて, 学部としてできるだけのことをしたいとの返事があつた。

3. 防火演習の予定, 地震対策について質問があり, 特に後者については理職としても案を出したいとの発言があつた。学部側から防火演習については各号館に伝えてあり, 一号館入口は改善する予定であること。二号館外壁や薬品棚など地震のとき危険なものには対策を講ずることなどの説明があつた。

4. 理職から本年度特別昇給者の名簿を見せて欲しいとの要望があり, 事務長から例年の通り発令になった段階で知らせるとの返事があつた。

# 理学博士学位授与者

昭和 49 年 7 月 8 日付授与者

専門課程	氏 名	論 文 題 目
植 物 学	井 上 弘 一	Biochemical studies on temperature sensitive mutants which have defects in cell membranes in <i>Neurospora crassa</i> . (細胞膜に欠損をもつアカパンカビの温度感受性突然変異体の生化学的研究)
地 理 学	片 倉 素 子	An Anthropogeographical Study of Saudi-Arabian Bedouin Communities. (サウディ・アラビアにおける遊牧民社会の人文地理学的研究)
学位規則第 3 条 2 項該当	富 田 芳 明	Intermediate Structure in the Neutron Scattering Cross Sections of Iron. (鉄による中性子散乱における中間構造)
同	佐 藤 肇	Constructing manifolds by homotopy equivalences II. (ホモトピー同値による多様体の構成)
同	飯 泉 仁 夫	熱中性子散乱による $\text{CaF}_2$ の格子力学の研究
同	福 見 俊 夫	Studies of Nuclear Magnetic Relaxation and Overhauser Effect in some Chemical Systems. (核磁気緩和およびオーバーハウザー効果の化学への応用に関する研究)
同	鷺 宮 秀 幸	有効ハミルトニアン法の応用
同	白 井 浩 子	ヒトデにおける卵成熟誘起物質 (1-メチルアデニン) の生成機序
同	小 野 勝 弘	高能率の小形電子ライナック
同	中 村 通 宏	Electron spin Resonance of Palladium (I). Hot Ions. (パラジウム (I) ホットイオンの電子スピン共鳴)
同	清 水 清 孝	Pseudo SU(3) Coupling and the Deformed State in $\text{Ni}^{58}$ . (擬 SU(3) 結合及び $\text{Ni}^{58}$ の変形状態)
同	水 谷 忠 良	Foliated cobordisms of $S^3$ and examples of foliated 4-manifolds. ( $S^3$ の葉層構造の同境界類と葉層構造をもった 4 次元多様体の例)
同	岡 田 守 彦	Quantitative Studies on the Bearing of the Antigravity Muscles in Human Posture with Special References to Electromyographic Estimation of the Postural Muscle Load. (ヒトの姿勢における抗重力筋の関与に関する定量的研究—とくに筋電図による相対的筋負荷の推定を中心として)
同	三鳥川 寿 一	On certain irreducible representations for the real rank one classical groups. (実階数 1 の古典群に関するある系列の既約表現について)

昭和 49 年 9 月 9 日付授与者

専門課程	氏 名	論 文 題 目
物 理 学	大 島 広 行	コロイド粒子間相互作用の一定表面電荷密度モデルとその生体系への応用
化 学	中 山 重 信	Reactions of Phosphinothiolylenes and Phosphinothiolylenes with 1,3-Dienes and Cyclic Ethers. (ホスフィノチオイリデンおよびホスフィノイリデンと 1,3-ジエンおよび環状エーテルとの反応)
学位規則第 3 条 2 項該当	鈴 木 史 郎	Single Pion Photoproduction in First Resonance Region. (第一共鳴領域におけるパイ中間子光発生)
同	大 橋 裕 二	The Structural Chemistry of Intermediate States. (中間状態の構造化学)
同	中 西 孝	フィッシュントラック法によるアクチニド核種の研究
同	木 村 一 郎	Studies on nucleic acid metabolism in proliferating animal cells and its modification by X-irradiation. (動物細胞増殖系における核酸代謝と X 線照射の効果に関する研究)

学位規則第3 山 本 清 高  
条2項該当

Studies on the Cell Coat Acid Mucopolysaccharides of Normal Liver and Ascites Hepatoma Cells with Reference to the Control of Cell Proliferation.  
(正常肝 および 各種腹水肝癌細胞の表層酸性ムコ多糖と細胞の増殖制御との関連に関する研究)

### ○理学部紀要の刊行

理学部紀要の数学編 (Section IA Mathematics Vol. 21, No. 2) が刊行された。8篇の論文が掲載されている。

編集後記: 本年度の「広報」は、7月、8月と2ヶ月夏休みをとりました関係上、原稿が予想以上にあつまり、一部は次号おくりとなりました。今月号は“夏休み”に関係のある旅行記や、国際会議関係のものを中心に編集してみました。また学部関係の記事も、「科研費一覧」など次号まわしにいたしました。

御寄稿頂いた諸先生の随筆や論文は、一つ一つ御紹介いたすまでもありませんが、こうやってみると、理学部の扱う研究範囲が、きわめて広範であることを改めて思いしらされます。書評もふくめて、秋の夜長にゆっくり御味読下さい。

尚これからの発行予定は、次の通りでありますので、あらかじめお知らせいたします。

6巻9号 (11月10日刊), 6巻10号 (12月10日刊)

7巻1号 (2月10日刊), 7巻2号 (3月10日刊)

原稿はいずれも刊行日の3週間位前迄に (前月20日位迄) お願いいたします。

### 編集:

(小堀 巖 (地理) 理2号館205号室 内線 6449)  
(清水 忠雄 (物理) 理1号館372号室 内線 2783)